

海外における日本研究の新地平

海外若手研究員による府民向けセミナー

外国人の若手研究者は日本をどのように捉えるのか。
ひと味違う独自の視点で掘り下げた研究内容を京都学・歴彩館の外国人研究員が発表します。

京都の外国人観光客の動向 —ラグビーワールドカップの影響をめぐって—



クリストファー・ヘイズ
from: 英国

2019年ラグビーワールドカップの開催時に京都を訪れた外国人ラグビーファンを中心に海外から見た京都のイメージと実像について考察します。

仏教文化交流からみる 中世の如法経信仰



郭珮君 (クオペイジュン)
from: 台湾

中世の仏教テキストを手掛かりに、東アジアにおける仏教文化交流の視点から日本独自の信仰表現である如法経信仰を考察します。

京都府立京都学・歴彩館
小ホール

申込不要

※プログラムには変更の可能性がございますのでご了承ください。

主催：京都府立京都学・歴彩館 共催：京都府立大学

2020年
2月21日(金)
13時30分~15時
(定員70名 無料 先着順)

問合せ：京都学・歴彩館 京都学推進課 075-723-4835

京都府立京都学・歴彩館では、国内外からの幅広いアプローチにより京都文化の普遍的な価値を研究発信するため、世界の大学・研究機関から日本研究・京都研究の優秀な若手研究者を京都学研究員として2017年度より招へいしています。今年度は2名の外国人研究者が、ひと味違う独自の視点で掘り下げた内容を府民の皆様に向け発表します。

海外における 日本研究の 新地平

海外若手研究員による府民向けセミナー

研究員プロフィール

クリストファー・ヘイズ (Christopher Hayes)

英国生まれ、カーディフ大学を卒業後、同大学大学院日本学研究科を経て博士課程修了。英国新聞における日本のイメージが専門。博士論文「英国新聞で矛盾する典型的日本とテクノロジーの関係意識」(2019)。2018-2019年イーストアングリア大学の日本学センターでプロジェクト・オフィサー。グレートブリテン・ササカワ財団の同窓生コーディネーター (2019)。

郭珮君 (クオヘイジュン)

台湾生まれ、国立台湾大学日本語学科を卒業後、同大学大学院歴史学研究科博士課程修了。歴史学博士。東アジア古代史・仏教文化交流史が専門。2018年聖巖教育基金会漢伝仏教博士論文賞受賞。東京大学東洋文化研究所訪問研究員 (2016)、台湾中央研究院歴史語言研究所Doctoral Candidate Fellow (2017)、東京大学史料編纂所外国人研究員 (2018)。博士論文「教団・儀式・権力:東アジア交流の中の天台仏教」(2019)。著書『図解日本史』(台北:五南, 2016)。

京都学・歴彩館からのお知らせ

○1階京都学ラウンジ

2月4日(火)~3月10日(火)

パネル展「京都の祭り行事」

(協力: 京都ふるさと伝統行事普及啓発実行委員会)

○1階展示室

開催中~ 3月8日(日)

柔らかい陶 - 市川廣三・宮下善爾の心象風景 -

○2階京都資料総合閲覧室

展示室・セミナー等関連図書を紹介

その他にも毎月多彩な講座・講演・資料紹介等を行っています。詳しくは京都学・歴彩館のホームページをご覧ください。



HP



twitter



Facebook

アクセス

●ご来場には、地下鉄・バス等の公共交通機関をご利用ください。

▶ JR・近鉄京都駅、阪急烏丸駅から

京都市営地下鉄烏丸線「北山駅」下車(①出口) 南へ徒歩約4分

▶ 京阪出町柳駅から

京都市バス 1 府立大学前(北大路通)下車 北へ徒歩約6分

▶ JR二条駅から

京都市バス 206 府立大学前(北大路通)下車 北へ徒歩約6分



問合せ: 京都学・歴彩館 京都学推進課 075-723-4835

休館日: 第2水曜日、祝日